

## 平塚市教育委員会令和3年8月定例会会議録

### 開会の日時

令和3年8月26日(木) 15時30分

### 会議の場所

平塚市役所本館7階720会議室

### 会議に出席した者

教育長 吉野 雅裕      委員 林 悦子      委員 目黒 博子      委員 梶原 光令

### 説明のため出席した者

#### ◎学校教育部

学校教育部長	石川 清人	教育指導担当部長	工藤 直人
教育総務課長	宮崎 博文	教育総務課課長代理	太田 恵
教育総務課企画担当長	松本 信哉	教育施設課課長代理	和田 幸一
学務課長	市川 豊	教職員課長	宮坂 正
教育指導課長	石井 鮮太	教育指導課学校安全担当課長	斗澤 正幸
教育研究所長	鈴木 真吾	子ども教育相談センター所長	神田 陽一

#### ◎社会教育部

部長	平井 悟	社会教育課長	鈴木 和幸
中央公民館長	西山 聡之	スポーツ課長	佐野 公宣
中央図書館長	小林 裕治	博物館長	浜野 達也
美術館長	戸塚 清		

### 会議の概要

#### 【開会宣言】

#### ○吉野教育長

これから教育委員会令和3年8月定例会を開会する。

#### 【前回会議録の承認】

#### ○吉野教育長

始めに、令和3年7月定例会の会議録の承認をお願いする。

#### (訂正等の意見なし)

#### ○吉野教育長

訂正等の意見が無いので、令和3年7月定例会の会議録は承認されたものとする。

# 1 教育長報告

## (1)令和3年度平塚市中学校総合体育大会結果について

### 【報告】

#### ○吉野教育長

当該大会の結果について報告するものである。詳細は教育指導課長から報告する。

#### ○教育指導課長

今年度の平塚市中学校総合体育大会は、6月26、27日、7月10、11、17日の5日間で開催された。また、水泳競技については、7月29日に開催された。

大会期間中は、新型コロナウイルス感染防止対策のため、学校会場では保護者等は入れず無観客とした。ひらつかサンライフアリーナ等大きな会場では、観客への対応・対策がしっかりとできる会場のみ3年生の保護者1人まで入場可とした。

そのような中、6月26日バレーボール女子の1日目終了後、大会関係者に濃厚接触者の疑いがあるということで、バレーボール女子2日目を念のため、約2週間後の7月10日に延期する対応を取った。

また、大会期間中の救急搬送については5件の報告があった。1件目はバスケットボールで、過呼吸のため救急搬送。2件目はサッカーで、試合中に左手を着き骨折。その後、手術をしたが、快方に向かっているとのこと。3件目と4件目はソフトテニスで、熱中症のため救急搬送2人。5件目は水泳で、熱中症のため救急搬送。過呼吸や熱中症の生徒は、大事には至っていない。どの会場も迅速かつ適切な対応を取っていただいたことを報告する。

今後の平塚市中学校総合体育大会の予定だが、陸上競技が8月28日、駅伝競走が10月9日に開催される予定である。

さて、中学校総合体育大会は、7月11日から始まった中ブロック大会を経て、7月27日から神奈川県中学校総合体育大会が県西ブロック会場で開催され、その後、8月初旬から関東大会、8月中旬から全国大会が開催された。本日は、関東大会、全国大会の出場者と結果について報告する。

今年度の全国大会は、関東ブロックで開催されている。

始めに、団体の部について報告する。

まず、水泳競技について報告する。江陽中学校水泳部は、県大会において、男子4×100メートルメドレーリレーでは、第1位、男子4×100メートルフリーリレーでは、第2位となり、それぞれ全国大会出場標準記録を突破し、千葉県習志野市で開催された全国大会に出場した。結果は、男子4×100メートルメドレーリレーは、第14位、男子4×100メートルフリーリレーは、第21位であった。

次に、柔道について報告する。金目中学校柔道部は、県大会において、女子団体戦で優勝し、群馬県前橋市で開催された全国大会に出場した。結果は、準決勝で敗れたが、第3位となった。

続いて、個人の部について報告する。

まず、陸上競技について報告する。神明中学校の生徒が、県大会において、共通男子400

メートル予選で、全国大会出場標準記録を突破し、決勝で第3位となり、茨城県ひたちなか市で行われた全国大会に出場した。結果は、予選5組の第4位であった。

山城中学校の生徒が、県大会において、共通男子800メートル予選で全国大会出場標準記録を突破し、決勝では第1位となり、全国大会に出場した。結果は、予選7組で第2位となり、9～16位決定戦で第16位であった。

太洋中学校の生徒が、神奈川県選抜陸上競技大会において、共通男子3,000メートルで第1位。通信陸上競技神奈川県大会において、第3位。ともに全国大会出場標準記録を突破し、全国大会に出場した。結果は、予選3組で第7位であった。

次に、水泳競技について報告する。江陽中学校の生徒が、県大会において、男子200メートル平泳ぎ予選で全国大会出場標準記録を突破し、決勝では第2位になり、全国大会に出場した。また、男子400メートル個人メドレーでも第3位となり、全国大会出場標準記録を突破し、全国大会に出場した。結果は、男子200メートル平泳ぎは予選第2位で決勝に進み、決勝では第5位となった。男子400メートル個人メドレーは、予選第9位であった。

同じく、江陽中学校の生徒が、県大会において、女子200メートル自由形予選で全国大会出場標準記録を突破し、決勝では第10位となり、全国大会に出場した。結果は、予選第11位であった。

次に、柔道について報告する。金目中学校の生徒が、県大会において、男子個人90キログラム級で優勝し、全国大会に出場した。結果は、1・2・3回戦、準々決勝、準決勝を勝ち上がり、準優勝となった。

続いて、関東大会出場者の紹介をする。関東大会には県大会の上位入賞者が出場となる。

団体では、江陽中学校 水泳部女子とバレーボール部女子、金目中学校 柔道部男子と女子が関東大会出場を果たした。

次に、個人の部について報告する。

陸上競技には、神明中学校の生徒が共通男子400メートルに出場、山城中学校の生徒が共通男子800メートルに出場し、太洋中学校の生徒が共通男子3,000メートルに出場した。

水泳競技には、江陽中学校の生徒3人が出場し、1人目が男子400メートル個人メドレーと400メートル自由形に、2人目が男子200メートル背泳ぎと100メートル背泳ぎに、3人目が女子200メートル自由形と400メートル自由形に出場した。

柔道には、金目中学校の生徒6人が出場し、男子個人戦55キログラム級、男子個人戦60キログラム級、男子個人戦81キログラム級、男子個人戦90キログラム級、女子個人戦48キログラム級、女子個人戦63キログラム級にそれぞれ出場した。

ソフトテニスには、金目中学校の生徒のペアが、女子個人戦に出場した。

卓球には、金旭中学校の生徒が、男子個人戦シングルに出場した。

## 【質疑】

なし

## 2 教育長臨時代理の報告

### (1)報告第4号 令和3年度平塚市一般会計(教育関係)補正予算について

#### 【報告】

#### ○吉野教育長

8月27日に開会する市議会9月定例会への令和3年度平塚市一般会計補正予算のうち、教育委員会所管部分の予算について、臨時に事務を代理し、市長へ申し出たので規則の定めに基づき報告するもの。詳細は教育総務課長から報告する。

#### ○教育総務課長

「補正予算要求額」に関して、「歳入」については507万5,000円の増額を、「歳出」については5,043万5,000円の増額を、それぞれ計上している。

始めに、「歳入」について詳細を説明する。15款 国庫支出金 2項 国庫補助金 7目 教育費国庫補助金 1節 教育総務費補助金 において、「公立学校情報機器整備費補助金」として507万5,000円を計上している。

続いて、「歳出」について詳細を説明する。10款 教育費のうち、1項 教育総務費、2目 事務局費の職員給与費において、47万9,000円を「減額」している。これは、新型コロナウイルス感染症対策に必要な財源に充てるため、昨年度と同様に、特別職員の給料月額削減を行ったことによるものである。

同じく、1項 教育総務費、3目 教育指導費、「9 通学路安全対策事業」に関して、こちらは、通学時の安全対策として、通学路における「文」マークの路面標示を補修するため、12節 委託料について、777万6,000円を「増額」している。

次に、「20 GIGAスクール構想推進事業」に関して、相模小学校の移転に伴うネットワーク環境の整備や学校でのICT活用教育における教員の指導力向上を図るため、12節 委託料について、2,167万1,000円を「増額」している。

次に、「21 教育の情報化推進事業」に関して、ネットワーク運用支援員の配置状況を変更したため、12節 委託料について、507万5,000円を「減額」している。

続いて、2項 小学校費、1目 学校管理費、「2 小学校運営事業」に関して、相模小学校の移転に伴う引越し等の経費のほか、新型コロナウイルス感染症対策物品を購入するため、10節 需用費の消耗品費について51万1,000円を、そして12節 委託料のうち、施設管理運営委託料240万7,000円を、その他委託料1,074万円を、それぞれ「増額」している。

続いて、3項 中学校費、1目 学校管理費、「2 中学校運営事業」に関して、小学校費と同様に、新型コロナウイルス感染症対策物品を購入するため、10節 需用費の消耗品費について、16万5,000円を「増額」している。

次に、「5 中学校完全給食準備事業」に関して、新たな学校給食センター建設予定地の整備を行うため、12節 委託料について46万1,000円を、14節 工事請負費について665万5,000円を、それぞれ「増額」している。

最後に、5項 社会教育費、2目 公民館費、「3 中央公民館管理運営事業」に関して、中央公民館の各種修繕及び新型コロナウイルス感染症対策物品を購入するため、10節

需用費のうち、消耗品費 10 万円を、物品修繕料 110 万円を、施設修繕料 112 万円を、それぞれ「増額」している。

次に、「6 地区公民館管理運営事業」に関して、地区公民館の各種修繕及び新型コロナウイルス感染症対策物品を購入するため、10 節 需用費のうち、消耗品費 30 万円を、施設修繕料 267 万 7,000 円を、それぞれ「増額」している。

同じく、5 項 社会教育費、3 目 図書館費、「7 中央図書館管理事業」に関して、中央図書館の新型コロナウイルス感染症対策物品を購入するため、10 節 需用費の消耗品費について、30 万 6,000 円を「増額」している。

## 【質疑】

### ○目黒委員

「21 教育の情報化推進事業」で、ネットワーク運用支援員の配置状況を変更したため、12 節委託料を減額補正するとの説明だが、具体的にはどのように変更したのか。また、減額により現場に不利益等は生じないのか。

### ○教育研究所長

GIGA スクールがスタートし、当初はネットワーク運営支援委員を増員し対応する構想であったが、その後、新たに GIGA スクールサポーターの配置に対する補助金が創設されたことを受け、こちらで対応していくこととした。そのため、人的な不利益等は発生しない。

## 【結果】

全員異議なく了承された。

## (2)報告第5号 平塚市立の学校の設置に関する条例の一部を改正する条例について

## 【報告】

### ○吉野教育長

平塚市立相模小学校の移転に伴い、別表を整備することについて、臨時に事務を代理し、市長へ申し出たので規則の定めに基づき報告するもの。詳細は教育総務課長から報告する。

### ○教育総務課長

まず、「改正の要点」について、「平塚市立の学校の設置に関する条例」は、平塚市立学校の位置を別表に掲げている。本件は、平塚市立相模小学校の移転に伴い、相模小学校の位置を「平塚市大神 2,434 番地の 1」として、新たに定めるものである。

次に、「改正の理由」について、相模小学校は、令和 4 年 4 月に開校となることから、開校に併せて条例を改正し、新たに位置を定めるものである。これにより、この条例の「施行年月日」は、令和 4 年 4 月 1 日としている。

なお、この条例案については、令和 3 年 9 月市議会定例会に上程することとしている。

## 【質疑】

なし

### **(3)報告第6号 工事請負変更契約の締結について 〔相模小学校新築工事(建築)(プール棟・建築)〕**

#### **【報告】**

#### **○吉野教育長**

相模小学校新築工事（建築）、相模小学校新築工事（プール棟・建築）の工事請負変更契約について、臨時に事務を代理し、市長へ申し出たので規則の定めに基づき報告するもの。詳細は教育施設課課長代理から報告する。

#### **○教育施設課課長代理**

工事請負金額について、相模小学校新築工事（建築）では、令和2年9月に1回目の変更を行っており、今回は2回目となる。変更に伴い、3,965万9,400円の増額となり、変更後の請負金額は25億3,373万100円となる。

また、相模小学校新築工事（プール棟・建築）では、1,665万700円の増額となり、変更後の請負金額は2億7,207万700円となる。

契約の相手方は、相模小学校新築工事（建築）は、エス・ケイ・ディ・甲斐組特定建設工事共同企業体で、代表者は株式会社エス・ケイ・ディである。相模小学校新築工事（プール棟・建築）は増田工業株式会社となっている。

次に、「経緯」を説明する。今回の変更は、工事を進める中で現場の状況や契約工期に適切に対応するために必要となったものである。

次に、「主な変更内容」を説明する。相模小学校新築工事（建築）では、1つ目は「設計地盤高さの変更」で、土地区画整理事業による土地造成が進んでいく中で、当初より設計地盤面が高くなり残土の処分量が減少し減額となる。

2つ目は「残土処分方法の変更」について、相模小学校建設地は地下水位が高く、多量の湧水により搬出予定の残土が多量の水分を含んだものであったため、石灰で水分を減らす改良を行った上で搬出する必要性が生じた。

3つ目は「仮設・内部形状等の変更」について、昨年の校舎棟の地盤及び湧水対策に伴う工期の遅れを取り戻すため、足場の量を増加するほか、完成後の設備機器の維持管理を踏まえ天井形状の変更等が必要となった。

続いて、相模小学校新築工事（プール棟・建築）では、1つ目は「地盤改良の廃止」について、校舎棟での地盤改良を踏まえ、プール棟でも同様に地盤改良の実施を予定していたが、プール棟では杭工事に使用した重機が校舎棟より小型のものとなったことから、地盤改良は不要となり減額となるもの。

2つ目は「仮設工事の追加」について、校舎棟の工事を率先して進めるに当たり、校舎等周辺は資材や車両で混雑し、プール棟の工事車両の通過が難しくなったため、仮設エリアを見直し、新たな工事車両入口の設置と交通誘導員の追加が必要となった。

3つ目は「湧水対策の仕様変更」について、校舎棟での湧水対策を踏まえ、同様の対策を含めた設計としていたが、校舎棟より湧水を多く含むことが判明し、湧水の侵入防止、山留材料の仕様変更が必要となった。

次に、「契約変更」の変更理由について、今回の設計変更は建設地内での工事施工中における斜面崩壊等の安全対策、昨年の地盤及び湧水対策による工期の遅れを取り戻すこと、また、工事を進めていく中で、実際の使用方法や運用を検討したことにより変更が必要となった工事であることから契約変更を行うものである。

なお、工事については、令和4年4月の開校に支障をきたさぬよう進める必要があることから、順次行っている。

最後に、本契約変更については、当初に配当されている予算の範囲内で行うもので、令和3年9月市議会定例会に上程することとしている。

#### **【質疑】**

なし

### **3 その他**

なし

#### **【閉会宣言】**

#### **○吉野教育長**

以上で全ての案件の審議が終了したので、教育委員会8月定例会は閉会する。

**(16時02分閉会)**